

令和7年度 新年度のご挨拶

三次市立十日市小学校の校長を拝命して、本年度で6年目になりました、古本宗久です。

私は、本年度の学校教育目標を、「高い志をもち夢の実現に向けて 自分らしく 他者とともに社会を創る 児童の育成」としました。

学校の存在意義は、「将来の、児童の幸せを実現するための仕組み」になることです。



次代の十日市を担う児童の「今の幸せ」を支え、それが「将来の幸せ」に繋がり、「地域社会の幸せ」に循環するように、児童一人ひとりに、学校に居場所があり、友達と絆を深めながら楽しく豊かに学校生活を送れる、児童が輝き、心が共鳴する教育活動を創造していきます。

児童一人ひとりが真摯に努力する過程や、友達と協力しながら取り組む態度、個性と創造性のあるアイデアなど、児童が表現し活動する姿を多くの人に伝え、愛され慕われる、信頼と感動のある学校を目指します。

本校は、前年度、開校150周年を迎え、本年度は、151年目の新しい一歩を踏み出します。また、校舎の改築に向けての準備が進んでいます。

地域・保護者の皆様方には、引き続き、学校での講師や地域での体験的な学習などで、お力添えをいただければと思います。

本校に関わる皆様方の心が動き、応援してくださるような、地域とともにある学校づくりに向けて、教職員一同、力を尽くしていきます。

本年度も、どうぞよろしくお願いいたします。

三次市立十日市小学校
校長 古本 宗久